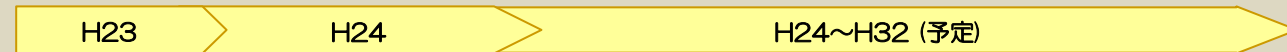


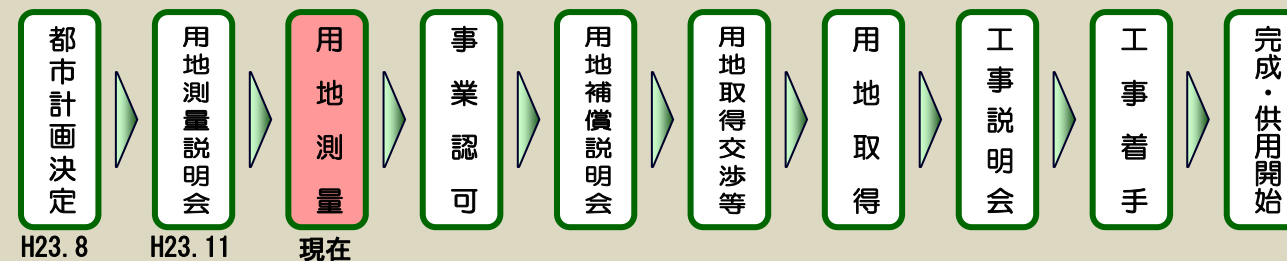
連続立体交差事業および区画街路のスケジュール

連続立体交差事業および区画街路第3号線（新井薬師前駅周辺）・4号線（沼袋駅周辺）の事業の流れは以下の通りです。

【連続立体交差事業】



【中野区画街路第3号線・4号線】



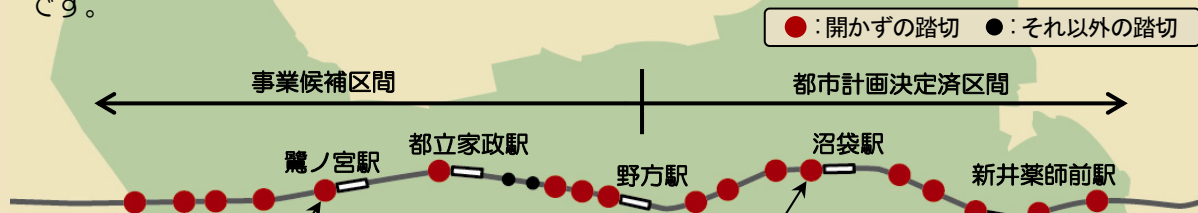
現在、事業用地を確定するための用地測量を進めています。

連続立体交差事業および区画街路第3号線については平成23年12月から、区画街路第4号線については平成24年4月から現地の測量作業を開始しました。

中野区内 西武新宿線「開かずの踏切」

区内の西武新宿線には18箇所の「開かずの踏切※」があり、交通渋滞を招くとともに、緊急車両の通行の妨げとなっています。

連続立体交差事業は、多数の踏切を一挙に除去する事業であり、交通渋滞の解消や、鉄道により分断されていた市街地の一体化、踏切事故の危険性解消のために早期実現が必要です。



踏切で渋滞する自動車
※開かずの踏切 ピーク1時間当たりの遮断時間が40分以上の踏切



踏切で滞留する歩行者、自転車群



踏切で足止めされる救急車

出典：交通実態調査「西武新宿線踏切対策に伴う沿線まちづくり整備構想策定調査報告書」平成17年3月中野区

●お問い合わせ先

中野区 都市政策推進室 西武新宿線沿線まちづくり分野

TEL : 03-3228-5487
FAX : 03-3228-5417

E-Mail : ensenmatidukuri@city.tokyo-nakano.lg.jp

※連続立体交差事業や沿線まちづくりについては中野区ホームページでご覧になれます。

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/164000/d002286.html>

（「西武新宿線沿線まちづくり」で検索）

西武新宿線沿線

第6号

まちづくりニュース

発行：2012年12月
中野区都市政策推進室
西武新宿線沿線まちづくり分野

目次

- 第1面 沼袋駅、新井薬師前駅周辺で地域の皆様がまちづくりの検討に取り組んでいます
- 第2、3面 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を紹介します
- 第4面 連続立体交差事業および区画街路のスケジュール

野方駅付近上空（沼袋駅、新井薬師前駅方面）



昭和初期 沼袋農村風景

昭和初期 草深い妙正寺川を渡る西武鉄道（上高田付近）

沼袋駅、新井薬師前駅周辺で地域の皆様がまちづくりの検討に取り組んでいます

西武新宿線の連続立体交差事業や区画街路の整備を契機に、沼袋駅および新井薬師前駅周辺の一体的なまちづくりを推進するため、区と地域住民の協働による取り組みを行っています。

●沼袋駅周辺の地元まちづくり組織

平成24年3月にまちづくり検討会設立に向けた準備会が立ち上がり、9月に「沼袋駅周辺地区まちづくり検討会」を設立しました。

●新井薬師前駅周辺の地元まちづくり組織

平成24年11月に準備会が立ち上がり、まちづくり検討会の平成25年2月の設立を目指し、準備を進めています。

まちづくり検討会では、区が必要な支援を行いながら、地域住民が具体的なまちづくりの検討に取り組んでいきます。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を紹介します

連続立体交差事業の実現に向け決起大会を開催（平成24年5月）

区民、区議会、中野区の三者で結成する「西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟」は、中井駅～野方駅間の着実な事業の推進と、野方駅以西（野方駅～井荻駅間）の早期実現を目指し、平成24年5月28日に決起大会を開催しました。

会場の野方区民ホールには、約250名が参加し、連続立体交差事業の早期実現を目指す大会宣言を行い、関係機関へ要請する大会決議を採択しました。

参加した区民からは、「大変良い決起大会でした」、「早い着工を期待しています」などの意見がありました。



大野会長のあいさつ



満員の会場

国・東京都・西武鉄道に対し要請活動を実施（平成24年6月、7月）

「西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟」は、平成24年6月から7月にかけて、国土交通省や財務省、東京都、西武鉄道を訪問し、大会決議と要望書を直接手渡しました。

訪問先では、大野会長、田中区長、地元選出の都議会議員および区議会議員らが、中井駅～野方駅間の着実な事業の推進と、野方駅以西の早期実現を要望しました。



国土交通省に要望書を渡す大野会長(右)と田中区長(中央)



財務省に事業の概要を説明する田中区長(中央)

大会宣言

西武新宿線沿線の新井薬師前、沼袋、野方、都立家政、鷺ノ宮の各駅周辺は、都心に近い利便性の高い地域として、今後の発展が期待されている。

しかしながら、この地域の多くの踏切がいわゆる「開かずの踏切」のため、交通渋滞の発生や踏切事故の危険性、地域の分断など切実な問題を抱えており、まちの健全な活動や発展を妨げている。

そこで、「開かずの踏切」の早期解消を、中野区をあげて解決すべき大きな課題として確認するとともに、関係機関に対して必要な措置を講ずるよう要請するなど、中野区民が一体となって、力を結集し、連続立体交差事業による「開かずの踏切」の解消促進と、沿線のまちづくりに取り組んでいるところである。

中野区民の悲願である連続立体交差事業の実現については、長年にわたる地元住民の様々な活動やまちづくりに寄せる思いが通じ、昨年8月に中井駅～野方駅間が都市計画決定した。

こうして連続立体交差事業の具体化に向け大きく前進したことにより、多くの中野区民が期待に胸を膨らませ、沿線のまちづくりへの夢がさらに広がり始めた。

今後とも中野区民は、「開かずの踏切」の一日も早い解消と、よりよいまちづくりのため、更なる活動を推進する決意である。

今年度に事業認可が予定されている中井駅～野方駅間については、連続立体交差事業を着実に推進するよう要望する。

また、事業候補区間として位置づけられている野方駅～井荻駅間についても、先行区間と同様、連続立体交差事業の早期実現を図るよう要望する。

これらの連続立体交差事業に必要な財源を、将来に亘り、安定的に確保するよう要望する。

平成24年5月28日

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会

大会決議

- 西武新宿線（中井～野方駅間）の連続立体交差事業の着実な推進を図ること。
- 西武新宿線（野方～井荻駅間）の連続立体交差事業の早期実現を図ること。
- 西武新宿線連続立体交差事業に関し、将来に亘り、安定した財源を確保し、事業に必要な国費を確保すること。

以上、関係機関に要請することを決議する。

平成24年5月28日

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟決起大会